

上島町浄化槽整備による効果事例について

平成 1 8 年 5 月

愛媛県上島町

1. 本町の沿革

上島町は、平成16年10月1日、弓削町・生名村・岩城村・魚島村の4町村が平成の大合併により合併、誕生しました。

周囲は、瀬戸内海国立公園区域に囲まれ、風光明媚な瀬戸の景勝拠点地です。

様々な歴史的背景を持った4町村が合併し誕生した上島町ですが、江戸期は、今治藩・松山藩に属し、民間航路の要衝でもあった当地域では、諸大名の参勤交代の要路で、港を中心として商業や廻船業で大いに賑わっていたと伝えられています。

古くは、農業・漁業が主産業でしたが、上島地域では、近隣の造船関連産業の発達により、その中心地であった広島県因島市との結び付きを強め、ベッドタウン的な傾向を持っていましたが、オイルショックとそれに続く造船海運不況により、離職者が相次ぎ、本町経済に深刻な打撃を与えました。

魚島地区は、地理的条件から造船関連産業とのかかわりはほとんどなく、古くから漁業の村として発展してきました。

交通機関は、広域航路では、今治～岩城～佐島～弓削～生名～広島県因島市(土生)を結ぶ快速船及びフェリー、弓削～尾道を結ぶ快速船、生名～三原を結ぶ高速船が就航しています。地域間航路としては、魚島～豊島～弓削～広島県因島市(土生)を結ぶ公営渡船をはじめとして、広島県因島市との間に民間フェリーが就航しています。



2. 地理的、地形的特長

弓削地区松原海水浴場



愛媛県の東北部、広島県境に位置し瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ上島諸島(有人島:弓削島、佐島、豊島、生名島、岩城島、赤穂根島)(無人島:百貫島、津波島、坪木島、能小島、鶴島、平内島、亀島、甕島、大島、小島)及び魚島群島(有人島:魚島、高井神島)(無人島:江ノ島、三島嶼)から構成されています。

面積は 30.37 平方キロメートル、気候は瀬戸内海特有の温暖な多照寡雨で、平均気温は 15～16℃、年間降雨量 1,000 ミリメートル前後で、冬期にもほとんど積雪はありません。島のほとんどは山地で平野は少なく、地質は主として花崗石であり、一部に結晶質石灰なども見られるが、土壌は砂土壌で腐食質に富んでいます。

3. 上島町污水处理状況

本町における生活排水状況は、表-1に示すとおりである。平成 18 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳においては、計画処理区域内人口は 8,116 人である。

表-1 生活排水の排出の状況

(単位:人)

項 目	平成17年度	水洗化率	備 考
1.計画処理区域内人口	8,116	—	
2.水洗化・生活雑排水処理人口	4,669	57.5%	
(1)下水道	3,127	56.5%	
(2)農業集落排水施設	1,087	87.8%	
(3)合併処理浄化槽	193	71.0%	
(4)コミュニティ・プラント	262	100.0%	
3.非水洗化又は単独浄化槽人口	3,447	42.5%	

4. 浄化槽整備の概要

人口密集地(市街化地区)において、上島町の大部分の地域は公共下水道及び農業集落排水区域となっている。

下水道及び農業集落排水計画区域外で単独浄化槽を設置、もしくは設置していない家庭や事務所についても個々の状況を勘案しつつ、合併処理浄化槽への転換促進を図るものとする。また、設置状況については別紙地図－1のとおり。

浄化槽の処理区域別整備予定については表－2のとおりである。

表－2

平成18年3月31日現在

処 理 区	人 口				供用開始年度
	計 画	整備済	接 続	水洗化率	
弓削処理区	145 人	121 人	109 人	90.1%	平成 15 年 3 月 31 日
岩城処理区	180 人	149 人	84 人	56.4%	平成 16 年 3 月 31 日
生名処理区	30 人	—	—	—	平成20年度 供用開始予定
計	355 人	270 人	193 人	71.0%	

5. 下水道整備や浄化槽等の導入による水環境の改善

上島町の海辺環境は生活排水のたれ流しのため、汚濁が進んでいましたが、公共下水道、農業集落排水及び合併浄化槽の導入により、生活雑排水の流入が削減され、また、浄化槽等で処理されることにより、水質は改善されてきました。今後も浄化槽等の設置が増加するため、水環境はさらに改善が図られます。

写真1:水路では、めだかが増えました。



写真2:海のヘドロが少なくなっています。



写真3:水路がきれいになりました。



愛媛県 越智郡 上島町 全図

生名処理区(合併浄化槽)

5人槽	5基
7人槽	10基
計	15基

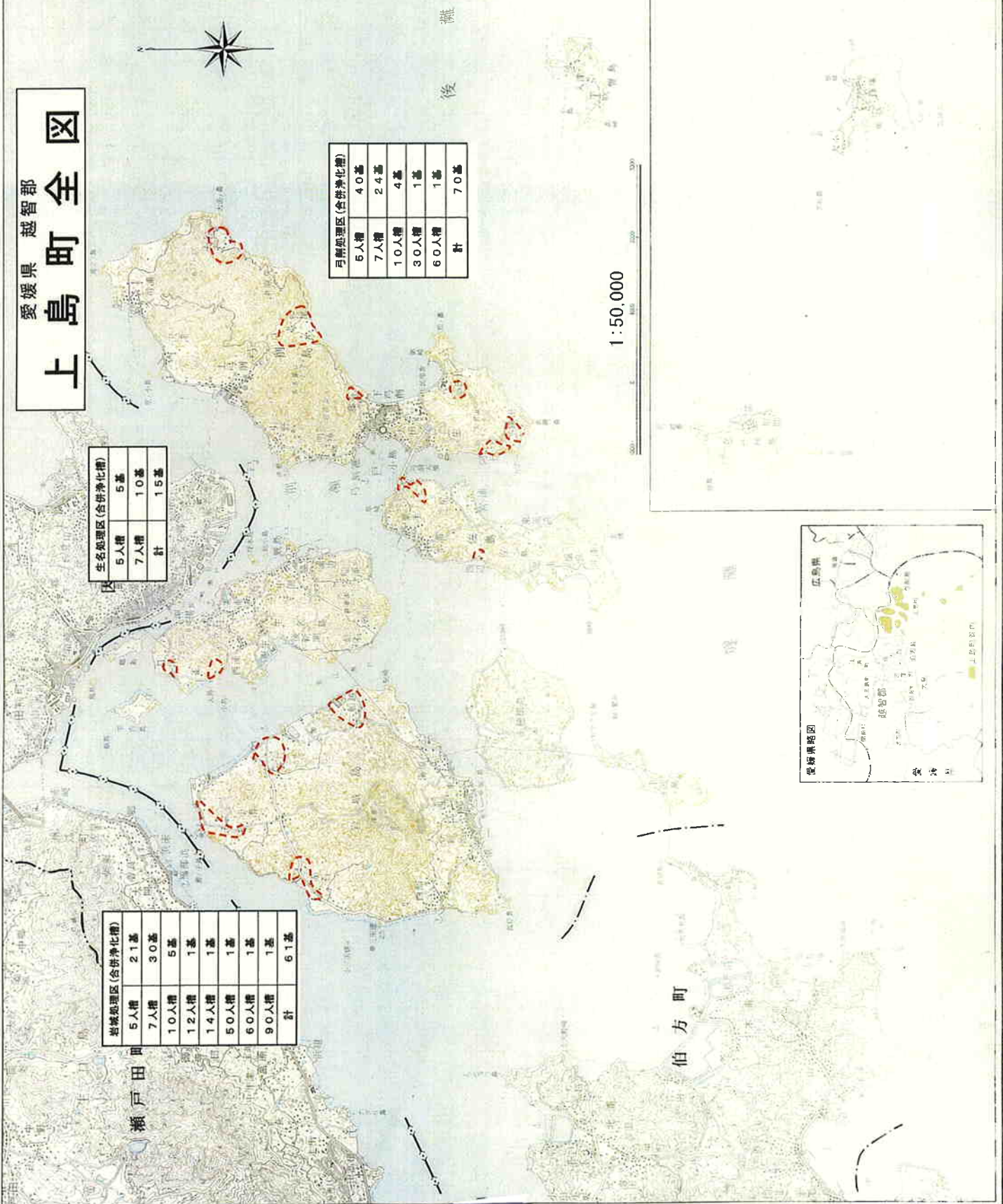
岩城処理区(合併浄化槽)

5人槽	21基
7人槽	30基
10人槽	5基
12人槽	1基
14人槽	1基
50人槽	1基
60人槽	1基
90人槽	1基
計	61基

弓削処理区(合併浄化槽)

5人槽	40基
7人槽	24基
10人槽	4基
30人槽	1基
60人槽	1基
計	70基

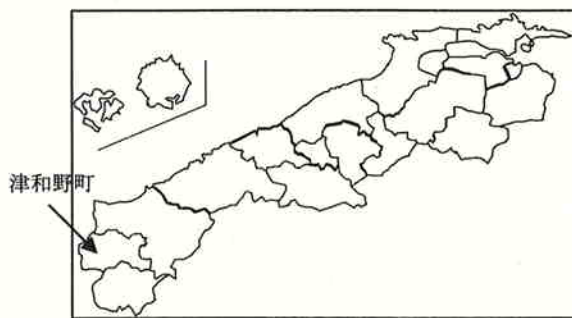
12号



つわのがわ 浄化槽整備による効果事例 2 (津和野川)

島根県鹿足郡津和野町

津和野町は島根県西部に位置し、「山陰の小京都」と呼ばれる人口約9,600人の城下町です。街の中心部を流れる津和野川や殿町通りの堀では、多くの鯉が泳いでおり、年間約110万人訪れる観光客の目を楽しませています。

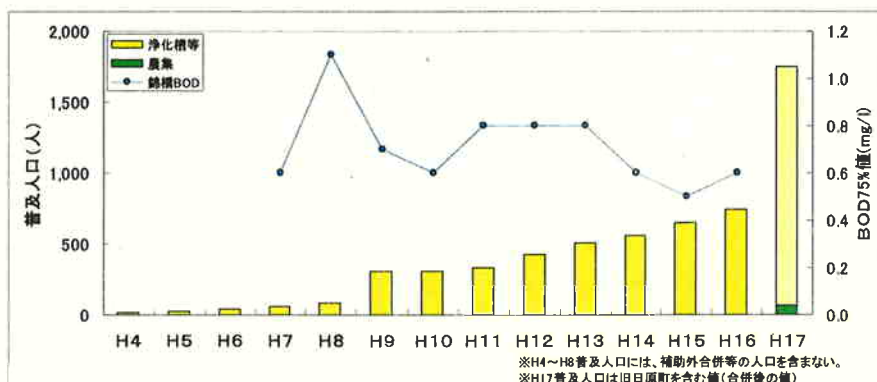


しかし、津和野川では親水護岸等が整備されたものの、生活環境の変化により水質が悪化し水質の改善が急務となっていました。

平成4年度より浄化槽の整備を開始し、年間約20基の整備を行なった結果、近年徐々に水質が改善傾向にあり、津和野川や殿町通りでは多くの観光客が水に親しんでいます。

平成4年度より浄化槽の整備を開始し、年間約20基の整備を行なった結果、近年徐々に水質が改善傾向にあり、津和野川や殿町通りでは多くの観光客が水に親しんでいます。

津和野川の水質と浄化槽・農集普及人口



生活環境の変化により水質が悪化していたが、浄化槽等の整備により徐々に水質が改善されている。



殿町通り



殿町通りを泳ぐ鯉

観光の中心となっている殿町通りには、沢山の鯉が泳ぐ堀（津和野川から取水）が流れており、約110万人の観光客の目を楽しませている。



津和野川

津和野川でも沢山の鯉が泳いでおり、観光客や住民の憩いの場となっている。

浄化槽整備による効果事例

唐津市七山村は、平成18年1月1日付けで唐津市に合併したが、旧七山村は人口約2,600人の「清流と緑の自然公園の村」をキャッチフレーズに村づくりに努めた。平成15年農業集落排水事業地域外の集落に浄化槽市町村整備推進事業を導入し、3年間で130基を設置し生活雑排水の処理を行い環境の保全と公衆衛生の向上に努めた。七山の中央を流れる玉島川も以前の清流に近い水質になりつつある。

これにより、玉島川にすむヤマメ、鮎、ツガニなどの淡水魚が少しずつ増えはじめた。また昭和30年代まで各地区に多数生息していた蛍等も近年増加し始めた。一番の効果は、旧七山村の玉島川の清流が戻ることにより、福岡市を中心に都会の子どもたちが、七山中央地区にある親水公園で親子づれの川遊びや、川泳ぎの姿がたくさん見受けられ、「清流と緑の自然公園の村」のイメージが実現され活気ある村づくりにおおいに寄与した。



七山親水公園